

# まちづくり会議

第3回 厚別南・厚別東

地域の各団体の皆さんが、自らの手で住みよいまちを作るために、まちづくりに取り組んでいます。厚別には地区ごとに6つのまちづくり会議があり、その会議の様子を3回にわたって紹介しています。

## 厚別南地区まちづくり会議



佐々木敏美議長<sup>ささきとしみ</sup>の進行のもと、各部会から本年度の活動計画が発表されました。今後は内容の検討など、実施に向けての具体的な作業が進められる予定です。

### 平成19年度 厚別南地区3部会の活動計画

- 防犯・安全対策部会=児童見守り活動
- 健康づくり部会=健康講座、介護予防事業の開催
- サイクリングロードを考える会=自転車利用のマナー啓発など

## 厚別東地区各種団体交流会・まちづくり会議



本年度の重点課題である「地域の安全安心」<sup>おおと</sup>について、大戸勇三町内連合会<sup>ゆうぞう</sup>総務部長が、新たに取り組む防災事業について説明し、実施に向けて委員会が立ち上がりました。

### 平成19年度 厚別東地区 防災事業

- 防災体験学習会
- 災害図上訓練 (DIG)
- 地区の防災マニュアル策定
- 防災ハンドブック作成など

# 市民自治

みんなで

まちづくり

「市民が主役のまちづくり」を進めるためのルールである自治基本条例が、本年4月に施行されました。地域で取り組まれているさまざまなまちづくり活動は、市民自治の出発点であり、住みよい地域を支えるものです。このコーナーでは、そうした各地域での取り組みを紹介していきます。

## 厚別中央地区 スズムシで世代間交流

〜一生懸命育ててプレゼント〜

スズムシを育てたことがありますか？ スズムシの生息域の北限は青森県と言われており、北海道の自然環境では生きられない昆虫です。そんなスズムシを使い、「厚別中央地区福祉のまち推進センター（＝福まち）」（<sup>はちやま</sup>畠山義教センター長）では、世代間交流を目的とした「スズムシ交流会」を近隣の小学校と協力して行っています。



信濃小学校の児童にスズムシの飼い方の指導をする根岸さん。

事前に福まちのスタッフが卵からかえしたスズムシの幼虫を、終業式の後、希望する児童に渡し、夏休みを利用して飼育してもらいます。児童が一生懸命育てた成虫のスズムシを、九月にお年寄りに贈り、鳴き声を楽しんでもらうという取り組みです。飼い方を指導するのは、四十四

年間にわたりスズムシを飼育している福まちの根岸徹さん<sup>ねぎしとほる</sup>。根岸さんの飼育経験を生かして地域のお年寄りのために企画されたのが、この交流会です。昆虫少年だったという根岸さんは、「生き物を育てることで、子どもたちに自然の不思議さと命を大切にす



る気持ち

を学んでほしい」と話します。交流会では、スズムシの話題がきっかけとなり、世代を超えて話が盛り上がります。

畠山センター長は、「子どもの好きな昆虫飼育が交流に役立っています。交流会を続けることで、お年寄り子どもたちの間に、地域の中での祖父母と孫のような関係が築けたら」と話します。地域を紡ぐ活動が続けられています。



昨年の交流会の様子。

